

「謙信公祭」

謙信公祭は、大正15年に地元の青年団が中心となって第一回目の祭りが開催されて以来、上杉謙信公の武勇を讃え、遺徳を偲ぶ祭りとして、戦中戦後の激動の時代においても一度も途絶えることなく、大切に受け継がれてきました。

名将・上杉謙信公が生まれ、生涯の大半を過ごしたこの地を引き継ぐ私たちは、そのことを誇りとして、ここ上越市に息づく“義”を育み、次の世代へと途切れることなく、継承していきたいと考えています。

「義」とは

謙信公の生涯で、関東へ13回、川中島へ5回、越中、能登へ10回出陣したのは、あくまでも義戦としての出陣でした。

武田信玄、織田信長ら数々の戦国武将達が、領土拡大や天下に号令をかけようと戦をしましたが、謙信公が侵略のために戦ったことは一度もなく、全てが「筋目」や「大義」を重んじた戦だった。

男気、一本気、そして頼まれれば嫌とはいわぬ律儀なところ、まさに「義」の心をもった武将だった。

上杉軍の軍旗「毘」「龍」

謙信公は、自らを毘沙門天の化身と信じ、戦いの前には必ず毘沙門堂に日夜籠っては国内の平定と戦勝を祈願し、戦いの時には毘沙門天の一字をとった『毘』を軍旗としてのぞみました。毘沙門天とは、四天王の一つで、北方世界を守護する神であり、戦勝の神ともいわれています。敵を寄せつけない威風堂々たる毘沙門天の姿がそのまま謙信公の雄姿と重なり、それゆえ、毘の軍旗が戦場に立つと、上杉軍は勇猛果敢に戦いました。

集え！食せ！遊べ！

上越のグルメ
大集合

上越市役所
春日野駐車場

令和4年
8/20(土)21(日)

10:00 ~ 17:00
10:00 ~ 15:00

春日山

上越市役所
春日野駐車場
(春日山駅と並び)